



ブライトビジョン特許事務所の「ソフトウェア特許講座」では、特許制度の概要、ソフトウェア特許を取り巻く環境、実際に認められているソフトウェア特許の例、ソフトウェア特許に関する侵害訴訟の例などを、SE（システムエンジニア）経験を有する弁理士が、技術および法律の両面から分かりやすく具体的に説明します。

■ ソフトウェア特許講座の 特徴とメリット

- ▶ 豊富な具体例を用いてソフトウェア特許を分かりやすく解説。
 - > ソフトウェア特許を具体的にイメージするには、今までどのような発明が特許として認められてきたかを見るのが一番です。
 - > 特許のイメージを具体的に把握することによって、開発や企画の担当者は、自身の携わる事業アイデアのうち、どのようなものが特許となりうるかについて、おおよその勘所を身につけることができます。つまり、社内発明に関する特許の種を効果的に「抽出」することが期待できます。
 - > ソフトウェア特許の具体例は、これまでにない斬新な発想や、新しいシステム/データの組み合わせを含んでいることが珍しくありません。このような事例に触れることは、担当者の発想や発明意欲に刺激を与え、結果的に新しい仕組みを想起させ、特許取得の新たな可能性が広がることとなります。
- ▶ オリジナルの資料を用い、実務的な観点を中心に分かりやすく解説。
 - > 単に特許制度の紹介をする講座や一般書籍では得られない、有益な情報を提供致します。
- ▶ 具体的かつ詳細な特許権侵害訴訟の分析についても解説。
 - > 訴訟における問題点、留意点が明らかになり、より高品質な特許出願への意識が高まります。
 - > 自社の事業を守る、他社に対して有効な権利行使を行うことができる、そのような「本当に強い」特許をどうやって取得すべきかについて、大きなヒントが得られます。
- ▶ ご要望に応じて、関連の深い分野に関する内容で構成することも可能。
 - > 自社に関連の深い情報を集中的に得ることができます。また、受講者の問題意識・知識レベルやニーズに合わせて、柔軟に講義内容や構成を調整することもできます。また、必要に応じて、事前のお打ち合わせもさせていただきます。
 - > オンラインでご説明をさせていただきます。

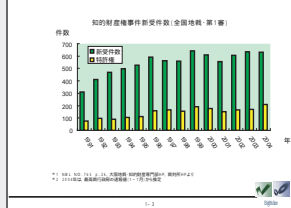
■ ソフトウェア特許講座の サンプル

▶ ソフトウェア開発企業向け
「ソフトウェア特許講座」～ソフトウェア特許を理解する第1歩として～

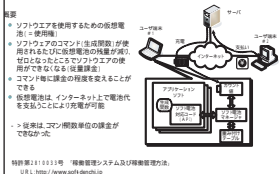
INDEX

- 1 特許を取り巻く環境
- 2 特許制度の基礎知識
- 3 特許権の効力と特許出願の効果
- 4 特許要件(特許として認められるための条件)
- 5 ソフトウェア関連発明
- 6 ソフトウェア特許の事例
- 7 先行技術調査

1.1 統計データで見る特許の動向



ケーススタディ/ソフト電池

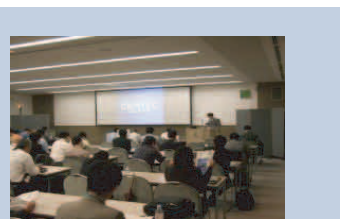
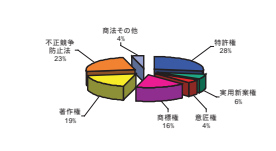


ケーススタディ/JAL ONLINE



1.1 統計データで見る特許の動向

新出特許の種別別割合(2010年)



講義風景

▶ CEATEC JAPAN 講演「ソフトウェア特許侵害訴訟から学ぶ特許戦略のヒント」